

令和5年度 勝山高等学校 学校関係者評価書

<p>観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価書の成果と課題が適切かどうか</li> <li>・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か</li> <li>・学校評価アンケートの実施方法と内容に関する問題点について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>評価者</p>	<p>PTA会長・PTA副会長(3名)・同窓会長(副会長)</p>
<p>ご意見 (教育課程・ 学習支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・ポリシーに掲げた教育活動を実施し、目標を達成する教員組織を確立するという重点目標を置いている以上、全職員が共通認識を持って一丸となって取り組むべきだが、わずかながら取り組めていない教員がいる。その原因を把握し、改善策をとり、全職員が同じ方向を向いて取り組む必要があるのではないかと。</li> <li>・結果は概ね良好であるが、現スクール・ポリシーを掲げ、探究特進科創設から3年目となる来年度、成果をどう評価していくか検討が必要である。</li> <li>・ICTデバイスの活用については、目標はほぼ達成されているが、技術の進歩や情勢の移り変わりは速いので、更なる有効活用を目指して継続的に取り組んでほしい。</li> <li>・ICTを活用した授業実施の成果指標が妥当かどうか検討すべきである。</li> <li>・ICTデバイス活用に関する否定的な回答をした生徒に対しては、活用の優位性を理解できるように支援すべきである。</li> <li>・ICTデバイスの活用については、学校からの通知など保護者が参加できるものがあれば、保護者も活用状況が把握しやすいのではないかと。</li> </ul>
<p>ご意見 (生徒支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容儀を整え自発的に挨拶ができる生徒の割合が目標指数に達しているのは好ましいことなので、今後もその状況が維持できるよう支援を継続してほしい。</li> <li>・成果と課題、完全策・向上策ともに妥当なところだが、いじめ防止の取組に対する保護者の満足度が若干低いようなので、今後高めていけるように取り組んでほしい。</li> <li>・学校行事での生徒の自主性が感じられる。今後も積極的に参加し、よい思い出づくりにつなげてほしい。</li> </ul>
<p>ご意見 (進路支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択の支援においては、進路情報の提供、生徒との意思疎通いずれの面でも数値が上昇しており、総じて評価できる。生徒の状況の応じた積極的な支援を今後も継続してほしい。</li> <li>・情報提供に関しては、教職員・生徒と保護者の間で認識に開きがあり、保護者の満足度を高める手だてが必要である。</li> <li>・模擬試験の活用についてはまだまだ改善の余地がある。模試の「振り返り」の必要性を生徒が理解できるように、積極的な支援をお願いしたい。</li> <li>・生徒自身が自主的に情報収集して進路選択につなげるのは有意義なことなので、満足な選択ができるよう、周囲から積極的にフォローしてほしい。</li> </ul>
<p>ご意見 (保健管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は清掃活動に真面目に取り組んでおり、環境美化への意識が高い点は評価できる。今後もより積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・学校生活での困りごとを相談できる体制について肯定的に捉えている割合が生徒・保護者ともに高く、生徒・保護者と学校との信頼関係が構築されていると評価できる。不適応やいじめの対象生徒がわずかでも発生すれば、当事者だけでなく他の生徒への影響も大きくなるので、今後も十分な取組を継続してほしい。</li> </ul>
<p>ご意見 (校外との連携・ 情報の発信)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動の過程や成果を対外的に発表する機会が多くあるのは、自己肯定感やモチベーションの高揚、さらには学校の魅力のアピールにもつながり、意味深いことである。今後も、様々なメディアを活用しながら、外部への発信の機会を十分与えてもらいたい。</li> <li>・ホームページや勝高新聞による情報の発信も行っているが、保護者の立場からは十分な情報が提供されているとは言えない。また、ホームページや勝高新聞は先生方の手で作られているようだが、これらを生徒の手に委ねてみてはどうか。</li> <li>・探究活動が進路実現につながるよう、支援をお願いしたい。</li> </ul>
<p>学校関係者評価の結果をふまえた今後について</p>	<p>本校の取組に対する保護者・同窓会・地域住民からの期待の高さを強く感じる一方で、認知度を高める点では課題を抱えたままである。取組成果の情報が保護者に十分伝わっていないなら、地域を始め外部にはなおさら伝わっていないことになる。今後、広報活動をさらに積極的に行い、生徒が生き生きと活動している姿を外部に発信し続けることはもちろんだが、認知度を高める発信の仕方についても、戦略の練り直しが必要である。</p>